

株式会社FRONTEO 第17回定時株主総会 質疑応答内容

※本質疑応答は、当社が株主総会で行った事業にかかわるご説明を、ご出席いただいた株主様以外にも広く開示する目的で掲載するものです。質疑応答の内容につきましては、適宜整理分類の上要約しております。

質問：新型コロナウイルスのAI創薬の件で、製薬会社と具体的な動きは進んでいるのか？また、スーパーコンピュータの「富岳」が世界一になった話があるが、FRONTEOのAIは、富岳と比べて、どう異なるのか？

回答：新型コロナウイルスに関連するAI創薬、ドラッグディスカバリーの状況ですが、多くの引合い、問合せをいただいております。現在、様々な可能性に関してプロジェクトを進めています。

当社のAI創薬システムは、非常に画期的なシステムで、論文の内容の中から、遺伝子の変異を文章の中から見つけていき、繋ぐという、世界の類を見ないものです。

また、FRONTEOのAIはMicro AIで大きなコンピューターリソースを使わず、アルゴリズムの優位性で高い精度を上げるということを志向しています。そのため、我々はアルゴリズムの精度、工夫、それから個別のドメインに対して特化して解析をしていくことによって、十分な差別化が出来るものと考えており、我々の言語系AIは世界最高水準であると確信を持っております。

質問：招集通知の16ページに「継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在」とあるが、これに関連し財務体質改善のための具体策を教えてください。

回答：次のステージ4、売上300億円への体制づくりを注力していく中で、内部体制、財務体質に関しては、アメリカの体制によるところが非常に大きかったのですが、2020年3月期において体制改善に一定の成果と効果を得たと思っております。さらなる改善へ向けて、2021年3月期は既に実施したNASDAQ上場取止めを含めたコスト削減を織り込んでおり、財務体質の改善に取り組んでまいります。同時に、金融機関との協議、コミュニケーションをしっかりと取りながら信頼関係を築き、今後の成長のための基盤を作っていくと考えております。

以上